

令和4年(2022年)



1・2月講座案内

北海道札幌視覚支援学校附属理療研修センター
〒064-8629

札幌市中央区南14条西12丁目1番1号

TEL・FAX (011) 533-3253

メールアドレス ahaki@popmail.hokkaido-c.ed.jp

ホームページ <http://www.riryo.hokkaido-c.ed.jp>

■第3回臨床講座Ⅰ (あはき師対象)

1月15日(土) 講義・実習 13:00~16:00

1月16日(日) 講義・実習 10:00~12:00/13:00~15:00

『肩関節疾患の診察法と治療法』

講師：センター指導員

■第5回東洋医学講座 (あはき師対象)

1月23日(日) 講義・実習 10:00~12:00/13:00~15:00

『手軽にできる灸治療の臨床応用&セルフケア』

講師：お灸・はり治療室 灸PLUS 副院長 ^{やぎ}八木 ^{あさこ}麻子 先生

■第2回医学研修講座 (あはき師対象)

2月6日(日) 講義 10:00~12:00/13:00~15:00

〈AM〉『泌尿器疾患を学ぶ～男女の頻尿・尿失禁の原因と治療』

講師：北海道泌尿器科記念病院 院長 ^{あめだ}飴田 ^{かなめ}要 先生

〈内容〉日頃の臨床において、主訴ではないものの、泌尿器の悩みを抱えている中高齢者は非常に多いと思います。男性では、排尿困難・残尿感・頻尿・切迫感等、女性では、頻尿・違和感・イガイガ感・疼痛など様々な症状があります。本講座では、泌尿器の諸症状や治療法、セルフケアなどを講義いただきます。またPSA検診にも触れていただきます。

〈PM〉 『婦人科症状の基礎知識～更年期障害やPMSを中心に～』

講師: にしかわウイメンズヘルスクリニック 院長 ^{にしかわ}西川 ^{あきら}鑑 先生

〈内容〉更年期障害は自律神経の乱れから起こる動悸や息切れ、のぼせ、ほてり、発汗異常など、全身に様々な症状が現れます。また、月経前症候群（PMS）は、月経前に精神的あるいは身体的症状が現れ、月経開始とともに軽快・消失します。いずれも多く女性が抱えている疾患であり、鍼灸の臨床現場においても遭遇することの多い症状です。本講座では、これらの諸症状の病態から治療法までを講義いただきます。

■第2回臨床講座Ⅱ （あはき師対象）

2月13日（日） 講義・実習 10:00～12:00/13:00～15:00

（昨年7月18日から延期した講座です）

『タクティールケアの理論と実践』

講 師：社会医療法人禎心会 介護老人保健施設

ら・ぱーす 療養長

JSCI シルヴィアホーム認定インストラクター

^{ささだ} ^{ようこ} 笹田 洋子 先生

〈内容〉タクティールとは、「触れる」という意味があります。その意味が示すように、手を使って10分間程度、相手の背中や手足を「押す」のではなく、やわらかく包み込むように触れるのがタクティールケアです。このケアは、私たち自身の手の持つ力を再認識させてくれます。本講座では、介護や看護の現場で役立つタクティールケアの理論と実技を中心に講義いただきます。

【関連書籍】

はじめてのタクティールケア— 手で“触れて”痛み・苦しみを緩和する 2016
他多数